

平成28年度教育委員会事務点検評価後の対応について

番号	事務事業名	担 当 課	点検評価委員の意見	対 応 策
1	児童生徒に対する安全確保推進事業	学校教育課	○通学路の一斉点検については、平成24年度より引き続き実施している事業で、有効な事業であるが、地域のボランティア（子ども見守り隊等）との連携強化や、警察官OBの協力を得るなどの対応により、登下校時の児童生徒の安全がより確保され、事業の有効性向上が期待できることから、検討をしてほしい。	○社会福祉協議会や学校を通して地区のボランティア団体等について活動内容・状況を把握し、協力依頼をする。 ○学警連や桜川市交通対策協議会と言った児童生徒の安全確保に関する活動に取り組んでいる既存の組織との協力体制を強化するとともに、地元警察を通じて警察OBに対し、児童生徒の安全確保に係る取り組みへの協力依頼をする。

平成28年度教育委員会事務点検評価後の対応について

番号	事務事業名	担 当 課	点検評価委員の意見	対 応 策
1	一般職非常勤職員任用事業(教育補助員)	教育指導課	○近年、障害等により特別な教育的配慮を要する児童生徒の増加が見込まれるため、学校の要望に応えられる適正な教育補助員の配置に向け人数を十分に検討してほしい。その際は予算確保もお願いしたい。	○学校や幼稚園等の訪問を実施して、障害等により特別な教育的配慮を要する児童生徒に対する教育補助員の支援等の実態把握に努め、適正な教育補助員の配置が図られるように検討した。次年度は、教育補助員の増員を予算要望し、さらに4名増員することとした。今後も教育補助員の適正な配置や活用等について検討していきたい。

平成28年度教育委員会事務点検評価後の対応について

番号	事務事業名	担 当 課	点検評価委員の意見	対 応 策
1	市子ども会育成連合会運営助成事業	生涯学習課	○市子ども会育成連合会の事業について、各単位子ども会及び市子ども会育成連合会役員の意見を聞き、他市町村の動向も見ながら、時代に適合した事業の整備が必要である。 ○子ども会の事業を通して、他地域の子どもの会同士の連帯感ができるなどよい点もあるので、状況をPTA等に働きかけて、他行事とのタイアップ策を検討してみることも一つの方法である。	○時代の変化の中で実施が難しくなっている事業については、各単位子ども会にアンケートを実施し、休止も視野に入れながら、改善策を検討している状況である。 ○単位子ども会同士の合併や他の青少年育成団体とのタイアップ事業なども今後進めていく予定である。

平成28年度教育委員会事務点検評価後の対応について

番号	事務事業名	担 当 課	点検評価委員の意見	対 応 策
1	岩瀬温水プール管理運営事業	スポーツ振興課	○施設の老朽化に伴い修繕費用の増加を考えると、今後の存続も含め検討の時期に来ていることから、市民の利用機会が損なうことにならないよう配慮しながら進める必要がある。 ○今後は、利用者の増加や収支の改善を図るために、指定管理者制度の導入や曜日限定開館の導入を検討してほしい。	○指定管理者制度の導入については、温水プール単体より市内の体育施設全体的な指定管理を模索している。ただし、温水プールの存続の検討を進めることが必須だが、まだ至っていない。 ○曜日限定開館については、一度下がった温水の温度を戻すためには数日を要する。また夏季・冬季などの2・3ヶ月のスパンでの開館はできるが、臨時職員の雇用の関係上難しい。 ○利用者増加策については、高齢者等が利用できるメニューをNPO等と検討していく。

平成28年度教育委員会事務点検評価後の対応について

番号	事務事業名	担 当 課	点検評価委員の意見	対 応 策)
1	まかべ幼稚園運営事業	まかべ幼稚園	○子ども子育て支援新制度が平成27年度よりスタートしましたが、幼稚園運営について就学前の教育の充実と特色ある保育を望みます。また、幼稚園教育要領に基づき、更に質の高い教育と保育の充実を図られたい。	○豊かな心を育む保育に努めた。正月遊びのたこ揚げ・こま回し・カルタ取りの伝承遊びを通して感動体験を園児が味わうことができた。また、地域のお年寄りに劇や手話ソング・合唱を見ていただき一緒に手遊びや肩たたきをしてお年寄りとの交流を行った。

平成28年度教育委員会事務点検評価後の対応について

番号	事務事業名	担 当 課	点検評価委員の意見	対 応 策
1	学校給食センター運営事業	学校給食センター	○現在良好な運営がされていることから、今後も児童生徒の心身の健全な発達のために、円滑な業務運営をしていくとともに、将来の統廃合に向けての施設運営及び人的配置等の具体的な準備をお願いしたい。また、小中一貫教育校の開校に向けた準備を視野に入れつつ総括的な運営を進めて頂きたい。	○施設設備について保守点検を実施し、不具合箇所の修繕を行い、学校給食法に基づく衛生管理の下で適切な運営を行った。 ○学校給食センターの統合に向け、関係課等と協議しながら進めている。統合準備として、翌年度予算に消耗品及び備品の予算を計上した。 ○小中一貫教育校の開校に向け円滑な給食提供を行うために、関係課と連携しながら準備を進めている。

平成28年度教育委員会事務点検評価後の対応について

番号	事務事業名	担 当 課	点検評価委員の意見	対 応 策
1	南学校給食センター施設 維持管理事業	南学校給食センター	○安心安全な給食の提供のため、老朽化した施設の維持管理については、今後とも徹底して継続してほしい。また、数年後の給食センターの統合に向けた準備をお願いしたい。 ○現在の施設の維持管理にあつては、敷地内の草刈り等も実施されて、内外ともよく整備されている。	○25年を経過した施設の維持管理を徹底した。ボイラーの配管の不具合・調理器具の真空冷却器・下処理室とを隔てる自動ドアの修理などを行い、安心安全な給食提供ができた。 ○特に夏季時には、自前で、1週間のスパンで敷地内の草刈り等を中心に、敷地内の衛生管理を徹底した。また、30年4月のセンター統合に向けて、借地の所有者との意思確認等の話し合いができた。